





# 支部大会を跳躍台に活動活発

## 久慈支部大会に18人

### 牛山県本部常任委員が講演

国民救援会久慈支部は4月25日、久慈市内で支部大会を開きました。久慈支部は、会員拡大で2人の支部役員が「中央顕彰基準」の「3人以上の拡大」を達成し、64名の最高現勢で支部大会を迎えました。



講演では、治安維持法国際同盟久慈支部と共催で、牛山靖夫救援会県本部常任委員（国際同盟県本部会長）が「治安維持法と啄木・賢治・鶴彬」と題し、啄木と賢治の「未来に属するもの」を学ぼうと語り、鶴彬についてはプロレタリア川柳作家としての多くの作品を紹介しました。

会員に届けました。③署名のとりくみでは、守大助さんの最高裁署名が会員家族から約150筆集まった。「安倍9条改憲NO!」3000万人署名は「花巻の会」に結集して継続的にとりくみ市全体で8400筆に達し、革新懇とともに毎週金曜の街頭宣伝を継続的にこなしている。④会員数は103人で3桁を維持していることなどが報告されました。

新年度活動方針では、①憲法改悪を許さず、3000万人推進、野党共闘に期待。②冤罪裁判闘争活動、再審制度の抜本改正。③「地域の人権センター」としての存在感のアピール。公権力の干渉を許さない監視と警戒心。④会員相互の親睦を深めるとりくみと会員の拡大などについての提案が、採択されました。

27日、一関市内で定期大会を開きました。県本部の安保進事務局次長が「のびのび自由な選挙、政治活動を」と題し講演しました。大会は、2018年度の活動方針を承認し、2019年度の活動方針が決まりました。大会では、憲法9条を守るとりくみとともに、名張毒ぶどう酒事件、袴田事件、大仙市事件（秋田）、明倫中事件（山形）、仙台北陵クリニックス筋弛緩剤えん事件（宮城）に連帯・支援の活動を行うことを確認。

あられたに一関管内では、「山田さんを守る会」に参加し、税務署、税務当局自身に違法性を認められた徴税と人権侵害に対し、民主的税務行政を求めてたたかうことを決めました。

一関に隣接する登米市で中古自動車販売業を営む山田幸夫さんに佐沼税務署が1500万円の追徴課税をしたことが発端。山田さんは、税務署員Oの税理士のもとで税の申告などを行ってききましたが、新たな課税は身に覚えがないばかりか、税務署側の書類は塗りつぶされものや見たこともないもので、山田さんは税務署による「隠ぺい・改ざん・書類隠し」だとして一関民商を訪れて相談しました。税務署員は「税務署と争うのか、書類に早く印鑑を押せ」と強権的な態度で迫ってきています。国民救援会一関支部は、「これは、税務当局により冤罪だ」として、「山田さんを守る会」に参加し、佐沼税務署の包囲や民主的税制確立のために活動することを決めました。

告などを行ってききましたが、新たな課税は身に覚えがないばかりか、税務署側の書類は塗りつぶされものや見たこともないもので、山田さんは税務署による「隠ぺい・改ざん・書類隠し」だとして一関民商を訪れて相談しました。税務署員は「税務署と争うのか、書類に早く印鑑を押せ」と強権的な態度で迫ってきています。国民救援会一関支部は、「これは、税務当局により冤罪だ」として、「山田さんを守る会」に参加し、佐沼税務署の包囲や民主的税制確立のために活動することを決めました。

千原で「のびのび選挙」の学習 4月29日、一関市千原町で、国民救援会一関支部の三枚山光祐支部長が「のびのび自由に選挙・宣伝活動をする心得」と題して1時間にわたり講演し、21名が参加しました。三枚山支部長は、A4判で4ページのレジュメを作成し、リーフレットも活用して話し、「わかりやすかった」との感想が寄せられました。

北上支部大会20人 佐々木県本部副会長が講演 国民救援会北上支部は6月1日、支部大会を開き、20人が出席しました。日本共産党北上委員会委員の柏葉明氏が来賓の挨拶をされました。県本部の佐々木茂喜副会長が「冤罪のない社会と大衆的裁判闘争」と題して講演し、DVD「いまに生かす松川運動」を視聴しました。討論では、選挙戦への官憲の動向への質問や松川事件全国交流集会への積極的な参加を意思統一し、会議後の懇親会で深めました。

## 花巻支部大会に25人

### 水戸県本部会長が講演

花巻支部は4月26日、金谷温泉で定期大会を開き25人が参加しました。来賓として日本共産党花巻市委員会委員長の水戸正男氏が来賓の挨拶をされました。水戸正男氏は「国民救援会が直面している課題と今後の展望」と題して話しました。

活動の総括では、①支部役員会をほぼ毎月1回開催。②中央機関紙、支部ニュース、支部学習版を滞りなく

一関支部大会30人 安保県本部事務局次長が講演 国民救援会一関支部は4

月27日、一関市内で定期大会を開きました。県本部の安保進事務局次長が「のびのび自由な選挙、政治活動を」と題し講演しました。大会は、2018年度の活動方針を承認し、2019年度の活動方針が決まりました。大会では、憲法9条を守るとりくみとともに、名張毒ぶどう酒事件、袴田事件、大仙市事件（秋田）、明倫中事件（山形）、仙台北陵クリニックス筋弛緩剤えん事件（宮城）に連帯・支援の活動を行うことを確認。

あられたに一関管内では、「山田さんを守る会」に参加し、税務署、税務当局自身に違法性を認められた徴税と人権侵害に対し、民主的税務行政を求めてたたかうことを決めました。

一関に隣接する登米市で中古自動車販売業を営む山田幸夫さんに佐沼税務署が1500万円の追徴課税をしたことが発端。山田さんは、税務署員Oの税理士のもとで税の申告などを行ってききましたが、新たな課税は身に覚えがないばかりか、税務署側の書類は塗りつぶされものや見たこともないもので、山田さんは税務署による「隠ぺい・改ざん・書類隠し」だとして一関民商を訪れて相談しました。税務署員は「税務署と争うのか、書類に早く印鑑を押せ」と強権的な態度で迫ってきています。国民救援会一関支部は、「これは、税務当局により冤罪だ」として、「山田さんを守る会」に参加し、佐沼税務署の包囲や民主的税制確立のために活動することを決めました。

千原で「のびのび選挙」の学習 4月29日、一関市千原町で、国民救援会一関支部の三枚山光祐支部長が「のびのび自由に選挙・宣伝活動をする心得」と題して1時間にわたり講演し、21名が参加しました。三枚山支部長は、A4判で4ページのレジュメを作成し、リーフレットも活用して話し、「わかりやすかった」との感想が寄せられました。

北上支部大会20人 佐々木県本部副会長が講演 国民救援会北上支部は6月1日、支部大会を開き、20人が出席しました。日本共産党北上委員会委員の柏葉明氏が来賓の挨拶をされました。県本部の佐々木茂喜副会長が「冤罪のない社会と大衆的裁判闘争」と題して講演し、DVD「いまに生かす松川運動」を視聴しました。討論では、選挙戦への官憲の動向への質問や松川事件全国交流集会への積極的な参加を意思統一し、会議後の懇親会で深めました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

花巻支部は同日、イトーヨーカ堂前で守大助さんを中心に冤罪の実態と「地域の人権センター」としての国民救援会をアピールしました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

花巻支部は同日、イトーヨーカ堂前で守大助さんを中心に冤罪の実態と「地域の人権センター」としての国民救援会をアピールしました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

活動の総括では、①支部役員会をほぼ毎月1回開催。②中央機関紙、支部ニュース、支部学習版を滞りなく

一関支部大会30人 安保県本部事務局次長が講演 国民救援会一関支部は4

月27日、一関市内で定期大会を開きました。県本部の安保進事務局次長が「のびのび自由な選挙、政治活動を」と題し講演しました。大会は、2018年度の活動方針を承認し、2019年度の活動方針が決まりました。大会では、憲法9条を守るとりくみとともに、名張毒ぶどう酒事件、袴田事件、大仙市事件（秋田）、明倫中事件（山形）、仙台北陵クリニックス筋弛緩剤えん事件（宮城）に連帯・支援の活動を行うことを確認。

あられたに一関管内では、「山田さんを守る会」に参加し、税務署、税務当局自身に違法性を認められた徴税と人権侵害に対し、民主的税務行政を求めてたたかうことを決めました。

一関に隣接する登米市で中古自動車販売業を営む山田幸夫さんに佐沼税務署が1500万円の追徴課税をしたことが発端。山田さんは、税務署員Oの税理士のもとで税の申告などを行ってききましたが、新たな課税は身に覚えがないばかりか、税務署側の書類は塗りつぶされものや見たこともないもので、山田さんは税務署による「隠ぺい・改ざん・書類隠し」だとして一関民商を訪れて相談しました。税務署員は「税務署と争うのか、書類に早く印鑑を押せ」と強権的な態度で迫ってきています。国民救援会一関支部は、「これは、税務当局により冤罪だ」として、「山田さんを守る会」に参加し、佐沼税務署の包囲や民主的税制確立のために活動することを決めました。

千原で「のびのび選挙」の学習 4月29日、一関市千原町で、国民救援会一関支部の三枚山光祐支部長が「のびのび自由に選挙・宣伝活動をする心得」と題して1時間にわたり講演し、21名が参加しました。三枚山支部長は、A4判で4ページのレジュメを作成し、リーフレットも活用して話し、「わかりやすかった」との感想が寄せられました。

北上支部大会20人 佐々木県本部副会長が講演 国民救援会北上支部は6月1日、支部大会を開き、20人が出席しました。日本共産党北上委員会委員の柏葉明氏が来賓の挨拶をされました。県本部の佐々木茂喜副会長が「冤罪のない社会と大衆的裁判闘争」と題して講演し、DVD「いまに生かす松川運動」を視聴しました。討論では、選挙戦への官憲の動向への質問や松川事件全国交流集会への積極的な参加を意思統一し、会議後の懇親会で深めました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

花巻支部は同日、イトーヨーカ堂前で守大助さんを中心に冤罪の実態と「地域の人権センター」としての国民救援会をアピールしました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

花巻支部は同日、イトーヨーカ堂前で守大助さんを中心に冤罪の実態と「地域の人権センター」としての国民救援会をアピールしました。

岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

花巻支部は同日、イトーヨーカ堂前で守大助さんを中心に冤罪の実態と「地域の人権センター」としての国民救援会をアピールしました。

# 無実の人を救う「5.20全国いつせい宣伝行動



岩手県本部と盛岡支部は5月20日サンピル前で、6人で宣伝行動を行い、150枚のチラシを配布しました。今回初めて横断幕もかけ、熱心に聞いてくれた人もいて、充実した行動になりました。

